内房富浦 多田良海岸出船
赤、白、黄の三種が潜む 内房のアマダイ五目

撮影◉鈴木 良和

★当日は最大40センチにととまったが、当地は50センチ級の大アマダイも珍しくない

秋風が吹き始めるころから続ぞくと乗合船がスタートする人気ターゲットといえばアマダイ。

その一つが内房富浦多田良海岸・日の出ボートのアマダイ五目乗合で舵を握る榎本福太郎さんは富浦～館山沖のポイントを知り尽くすベテラン船長だ。

当日は水深70～90メートル付近を中心に、シロアマダイが釣れるという水深30メートル台の浅場も探ってくれた。さすがにシロアマダイは出なかったものの、25～40センチ級のアカアマダイが3～7尾、ほかキアマダイ、オニカサゴ、キダイなどにぎやかな釣果となった。当地は赤、白、黄と三種のアマダイが狙える貴重な釣り場。一日で三種そろい踏みを夢見るアマダイマニアにもぜひおすすめしたい。

（詳細は50ページ参照）

▶定番ゲストのヒメコダイとアマダイの一荷
▼アジも交じる

▲日の出ボートのアマダイ五目は６名限定の予約乗合
◀釣りでアマダイと呼ぶ主な種は標準和名アカアマダイ
▶30センチ級がアベレージ

▲キアマダイを釣り上げた常連の泉沢さん

▶90メートルダチでオニカサゴが上がった
▼この時期はエサ取りが多い。アタリが遠いときは仕掛けを上げてエサを確認しよう

▲派手なアタリの正体はキダイ

▲小型は抜き上げで

▲テンビン式の２本バリ仕掛け、オモリ50～60号を使用。エサのオキアミと氷は各自持参

▲巻き上げ途中で断続的に引き込めば本命の可能性大

▲アマダイ釣りはまめな誘いと底ダチの取り直しが肝心

◉内房富浦多田良海岸
日の出ボート・榎本 福太郎船長